

1. 湯崎広島県知事、丸山島根県知事へ芸備線・木次線活動を報告しました

10月22日に、湯崎広島県知事と丸山島根県知事が木次線油木駅から備後落合駅を經由して芸備線小奴可駅までの鉄路を共にされ、ローカル線の魅力を生かした観光連携や利活用策などを話し合われました。

両知事が備後落合駅へ到着の際は、当振興区の片山会長が出迎え、当振興区内の「油木駅、備後落合駅、道後山駅」で日頃から地元の方々が地道に取り組まれている活動と、当振興区が廃校リノベーション後の交流施設へ旧国鉄グッズ類を展示している活動について報告しました。

湯崎知事からは、廃校リノベーション後の交流活動に関し「一緒に頑張りましょう」とのお言葉をいただきました。

当日はあいにく雨天でしたが、備後落合駅では地元の方の出迎えもあり、約50名の方で賑わいました。

当振興区としましては、振興区内の3駅で地元の皆様が地道にJR線を大切にされている姿を、両知事やJR西日本、報道各社、行政にPRさせて頂くことができましたことに心から感謝申し上げます。また、これらの取組を大変誇りに感じた次第であります。

今後も頑張ってください。応援しております。



「芸備線・木次線、地域の日常的な取組」として報告させていただいた内容、次の「①～⑤」

①「備後落合駅」でのガイドと駅舎の清掃

- ・「備後落合駅ガイドの会」(ボランティアグループ)
(代表)永橋則夫氏によるガイド等
- ・平成29年4月～現在まで3.5年継続実施
- ・延べ7,100人にガイド



②「備後落合駅」への花の植栽

- ・「八銚落合自治会」と地域カサ「落合みらい」による植栽
- ・平成29年～現在まで3年5ヶ月継続実施
- ・10月25日に「ハナミズキ」植栽予定



③「油木駅」の花壇づくり

- ・「油木自治会」による花の植栽
- ・平成13年度～現在まで19年継続実施



④「道後山駅」の植木剪定・除草及び駅舎清掃

- ・「高尾自治会」による年1回の植木剪定、年2回の除草、月1～2回の駅舎清掃
- ・現在まで30年継続実施



⑤「旧国鉄グッズ展示」による誘客

- ・平成29年度、広島県「さとやま未来博」の廃校リノベーション施設への旧国鉄グッズ展示
- ・R2年4月着手、9月完了
- ・R2.10月時点来場者60人



2. 役員会の報告（役員会 10月28日）

(1) 収穫祭を再来年度に延期することについて

新型コロナウイルス感染禍、来年度に延期している収穫祭は、引き続きその感染リスクが懸念されるため、稲刈りが終わって陽気の良い10月に屋外で開催する方向で考えております。

ただ10月は西城全体で行われる様々なイベントと重なり、特に来年度は「西城ふるさと祭り」の当たり年ですので、同年度での収穫祭は日程調整も難しくなり、併せて関係者の負担も大きくなります。このため、八銚の収穫祭は「西城ふるさと祭り」が開催されない再来年度へ持ち越す方向で検討しております。

(2) オリジナルホームページの開発の方向性について

ホームページは逐次更新中ですが、この度コピーライターと1回目の調整を行いました。その結果、八銚のホームページの開発の方向性は「つながる八銚」をメインに据えた「7つのつながり」を切り口に作り上げていくこととしました。

【7つのつながり】の7つとは「人、楽しさ、驚き、おいしさ、お気に入り、暮らし、利便」です。

(3) 交流事業につなげる生涯学習事業の計画化について

11月5日付配布の「生涯学習だより」でお知らせしましたが、以下の事業を来年度から実施することになりました。準備でき次第、参加者募集を行いますので多数ご参加ください。

- ①「しいたけ栽培講座」・・・地域外の人々の体験学習メニューとしても活用する。
- ②「ガーデニング教室」・・・将来的には交流拡大のためにオープンガーデン化を目指す。
- ③「パークG&ウォーキング教室」・・・地域外の人を含めたツアーとして活用する。

(4) 旧国鉄グッズ類の展示場所移動について

旧国鉄グッズ類は、交流施設（振興センター2階）の南側の部屋に展示していますが、消防法上の規制から、これを研修室（現在カラオケ教室使用場所）に移動する予定です。

これに伴い、カラオケ教室は交流施設の最北端の部屋に移す予定です。

(5) 西城町自治振興区連絡協議会の、令和2年度の当面の事業計画を決定しました

連番	事業	決定内容
1	情報交換会	中止する
2	町民グラウンドゴルフ大会	中止する
3	であいとふれあいフェア	中止する
4	庄原市西城町民新年互礼会	中止する（世話人会で決定）
5	庄原市自治振興区連合会開催の研修	連合会の方針に沿って進める
6	ひきこもりを理解する講演会	関係機関の方針に沿って進める
7	庄原市西城「町美展」（参考記載）	中止する

(6) タマネギ他農産物の供給状況

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
タマネギ	50kg	480kg	350kg	430kg	120kg					1430kg
その他	かぼちゃ他		6個	20個	52個					78個
	トウモロコシ		60本	60本						120本
	ジャガイモ			35kg						35kg
	トマト他			7kg	2.5kg					9.5kg

(7) やほこ交流センター・ヒバゴンビレッジ（交流施設）利用・訪問実績（単位:人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生涯学習自主運営等		4	41	18		14	7						84人
展示場等訪問者		5	13	12		11	33						74人
合計		9	54	30		25	40						158人

役員会の報告 (つづき)

(8) 自主防災組織の検討状況

「自らの地域を守るための自主防災組織の必要性」について検討し、防災組織づくりに関し、以下の方向性がまとまってきました。

- ① 自主防災組織は、各々の自治会が主体的に取り組む。
- ② 教科書のような組織は絵に書いた餅になる。少人数で動く現実的な組織づくりを考える。
- ③ 短時間集中豪雨災害が恐い、この大雨災害を想定した避難に重点においた組織活動を軸に組織づくりをする。

今後は、この方向性に沿い、自治会や常会等で取り組むことを整理し、それを講座等で周知しながら、来年度以降、各自治会で自主防災活動が展開できるよう進めていきます。

(9) 印刷機の導入と、自治会や地域団体等のコピー・印刷の無料化を検討

今年7月に白黒コピー機を入替え、また広報誌等の印刷対応の効率化を図り、今年度上半期のコピー料は昨年度に比べ半減しました。

今後は、関係人口の拡大に向け地域外への広報紙を年4回程度発行する予定としておりますので、これの印刷を経済的に行うために印刷機（輪転機）の導入を検討しております。

輪転機は一定のリース料（固定費）は発生しますが、印刷代（変動費）は通常のコピー機に比べ圧倒的に安く、これを機に、自治会や老人クラブ、テレビ組合等の地域団体のコピー・印刷料を無料（振興区負担）で実施できるようにすることも検討しています。

3. 地域マネージャー業務の進行状況をお知らせします。(9月～10月)

(1) 交流事業関係

- ① 「旧国鉄関係のグッズ」展示、「ヒバゴン50周年のヒバゴン資料」「ヒバゴンビレッジやほこの年表」を掲出しましたが、これら掲示物全体のインパクトを考え「ヒバゴンとは何ぞや」「ヒバゴンビレッジの目指す姿はこれだ」を表す絵を追加掲出予定で、現在その内容を検討しています。
- ② 「酒類の小売免許の取得」は残念ながら断念しました。免許取得には人格（個人か法人）が必須条件であるとのことで、自治振興区は手が出せないことが分かりました。センターへの来訪者が希望される場合は「高原酒造」さんを紹介することにしました。
- ③ ホームページはその構成変更を行いつつあります。フェイスブックは配信中です。インスタグラムは発信中（片山会長も発信中）です。
- ④ 将来の交流事業への展開を目指した、生涯学習3事業を令和3年度から実施する計画づくりを行い、10月28日の役員会へ上程し承認されました。

(2) 野菜販売関係

- ① タマネギの販売は、大口供給先への供給がストップしましたが、その他の供給先への供給量を増やしてもらい挽回しました。しかし「とう立ちやベト病等」による収穫量の減少で本年度は1.4トンの供給見通しです。
- ② その他の野菜も供給していますが、大口供給先破産による供給減の挽回は困難な状況です。来年度以降、ジャガイモ、ニンジンの栽培・供給もできるように11月6日には18名（講師含む）が参加して野菜栽培講座を開催しました。
- ③ また、生涯学習事業で「しいたけ栽培講座」も始まる予定なので、「しいたけ」も新たな供給アイテムとして考えていきたいと思えます。

(3) 自主防災関係

標準的な自主防災組織のタタキ台を作成し、役員会に上程し検討いただきました。

一定の方向性が確認できましたので、それを踏まえ、防災講座等も行いながら、来年度以降、各自治会が主体となって組織していただけるよう取組んで参ります。

過日、常会回覧でお願いした「地域外への広報紙送付先のご紹介」を、11月20日までの提出期限に拘らず随時提出も受付することにしました。引き続きご紹介くださいますようお願いいたします。

4. 「地域のこの人」紹介・・・（八銚落合自治会）竹島治男さん

当自治振興区のホームページのリニューアルに際し、言葉よりも写真でその意図を伝えなければと思ひ、また地域の写真は大切だなあと、そのありがたさを実感しつつの作業ですが、今回は当自治振興区設立以来、地域の写真活動に取組まれてきておられる竹島治男さん（西城町小島原）をご紹介しますことにしました。

竹島さんは八銚自治振興センターが立ち上がった、H23年の12月に振興区の生涯学習教室の第1号として「PPクラブ」を立ち上げ、パソコンへの写真取込みをメインとした活動を開始されました。その後パソコン教室はその役割を終え、中途からは写真のみの活動に転換後、今年度からは新たに西城の写友会の皆さんも加わった「写真クラブ」に衣替えし、その代表を務められています。

竹島さんが写真を始められたのは、娘さんからカメラを勧めてもらったことに始まるそうですが、地域では自治会や振興区、老人クラブ等の行事写真を一手に引き受けられ、中でも自治会の敬老会写真は延べ14年間分を保存されているとのことで大きな財産だといわれています。

また、自身が撮影された写真は、西城町美展やフォトコンテスト等に展示・出品されているかたわら、自宅の軒下に設けられた「フォトギャラリー」に常時十数点の四季折々の写真を展示されており、備後落合駅から散策で立ち寄られる人の来場も多いようで、年に十数枚のコメントがポストに投函されているとのことです。

そして、ご自宅の庭や周辺は野生動物や草花、目の前を走る芸備線も含め豊かなカメラスポットに恵まれているとのこと、9月にはアサギマダラの写真も撮れたと喜ばれていました。



竹島さんの写真アルバムから（アサギマダラ、加行目線の小動物、芸備線）

竹島治男さんとフォトギャラリー

竹島さんの地域への関りは、昔の勤務先の先輩の言葉「地域でお世話になって今がある。退職後は地域へ恩返しする」を心に刻まれての取組です。約16年前から常会長を務め、約5年前から地域内の支え合いの関係づくりのために常会でサロンを立上げ取組まれております。

少子高齢化で過疎化が進行するなか、感性豊かな写真を拝見させていただき感謝申し上げます。

5. その他の活動紹介

(1) 「JR木次線県境付近関係者会」に出席

JR木次線県境付近関係者会が、10月23日にやほこ交流センターで開催されました。この会は、備後落合駅～出雲坂根駅までのJR駅及びおろちループ道の駅で、活性化活動されている方で構成され、地域の活性化には木次線の存続が大切であるという観点から、行政（奥出雲町、庄原市）、西城町観光協会、西城自治振興区、八銚自治振興区も出席し、活動紹介、行政からの近況説明、意見交換が行われました。



会議では「トロッコ奥出雲おろち号の利用者は13,000人/年、老朽化対応としてJR西日本に更新を要望中」「三井野原・出雲坂根・奥出雲おろちループ駅が一体で活動している。奥出雲はマイタケ、蕎麦、温泉で多くの観光客が根付いている」等の紹介がありました。

八銚の活性化にも、参考となる点が多々あるのではないかと感じた次第です。

(2) 備後落合駅へハナミズキ植栽

10月25日に、八銚落合自治会と一の組・落合地区の住民13名が備北丘陵公園の指導のもと18本のハナミズキを植えられました。

ハナミズキで彩られた並木道が楽しみです。

